

3季連続出場へ決意 済々黌ナイン帰熊

4



第85回選抜高校野球大会（甲子園球場）に出場し3回戦で敗れた済々黌ナインが31日、大阪から新幹線で帰熊。熊本市中央区の同校に戻り、3季連続出場を懸けた夏の戦いに向け決意を新たにす

た。
JR熊本駅からバスに乗ったナインを留守番の野球部員17人や保護者らが出迎えた。本館玄関前

で出場報告式があり、県高野連の中西貞也会長（済々黌校長）らが「素晴らしいプレーの数々で、県民や同窓生たちを大いに沸かせてくれた」と健闘をたたえた。

原口琢磨部長が「選手たちは臆することなく一生懸命戦った」と報告。中川洸志主将は「黄色に染まったアルプススタンドの応援が僕たちを後

押ししてくれた。この経験を生かし、夏は全国制覇を目指します」と誓った。（坂本尚志）

感謝の胴上げ

○済々黌の原口琢磨部長（32）が、1日付で蒼洋高へ異動となり、部員たちに別れを告げた。

センバツが開幕した3月22日に内示を受け、26日の常総学院（茨城）戦後に急ぎよ帰熊。済々黌で退任式に臨むなど、慌ただしい日々が続いた。30日の済美（愛媛）戦もベンチに入り、ナインの健闘を見届けた。

野球部長は2010年度から。報告会后、部員たちから「お世話になりました」と胴上げ。原口部長は「初任地で2回も甲子園に行けた。選手たちに感謝します」。別れを惜しみながら、夏を目指す部員たちを激励した。